

生田緑地におけるみどりとアートの 連携について

川崎市市制100周年記念事業・
全国都市緑化かわさきフェア実行委員会事務局

COLORS, FUTURE! ACTIONS
KAWASAKI 100th



生田緑地におけるみどりとアート連携について（案）



●取組の方向性

・実行委員会参画団体や地元企業・団体等に加え、川崎ゆかりのデザイナーや連携協定を締結した東京藝術大学、専修大学の学生など、多くの主体と連携して取組を実施。

・生田会場をフィールドとし、多様な人々を結び付け、アートが有するさまざまな価値や魅力により、人々がつながり合うコミュニティ形成することで、誰もが文化芸術に触れ参加できる環境を創ることを目的とし、市制100周年記念事業にふさわしい、「知って、関わって、好きになる」ようなActionを実施。

・アーティストの活動場所の発掘、市内のアート活動の活発化、魅力の発信、未来のアーティストに向けて。

●開催日時・場所

・秋：10月19日（土）～11月17日（日）、春：3月22日（土）～4月13日（日）



生田緑地におけるみどりとアート連携について（案）



● 取組内容（案）

※調整はこれからのため、変更となる場合があります。

（1）川崎ゆかりのデザイナー、学生などによるアート活動等

・多摩丘陵の森や芝生広場など、生田緑地の豊かなみどり環境の中で、「ART FOR ALL KAWASAKI」webサイトに掲載している川崎ゆかりのデザイナーや、芸術家の卵である東京藝術大学等の学生などによる【みどり・人・会場の風景】等をモチーフとした美術作品の制作～展示までができるフィールドを生田会場に展開。

・制作風景をオープンにし、会場の風景の一部となていただく（撮影OK）、また来場者とのふれあいや、会話に加え、絵画教室や多世代交流による作品づくりなど通じて、川崎のアート（文化芸術）が持つさまざまな価値や魅力を発信する。人々がつながり合うことで、コミュニティの形成や、誰もが文化芸術に触れ参加できる環境をつくとともに、子ども達が、アートを「知って、関わって、好きになる」など、未来のアーティストを目指すことにもつながるようなActionを展開。



「ART FOR ALL KAWASAKI」webサイトに掲載、川崎ゆかりのデザイナー

生田緑地におけるみどりとアート連携について（案）

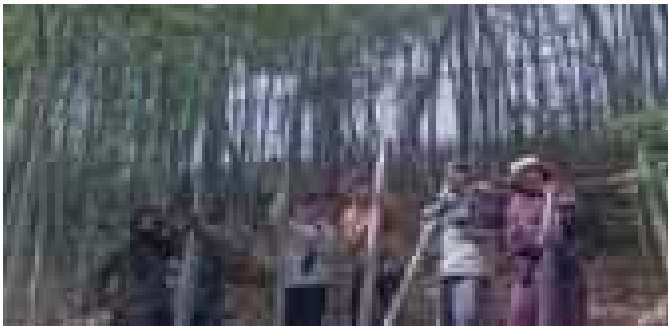


● 取組内容（案）

※調整はこれからのため、変更となる場合があります。

（２）ウェルカムゲート（竹灯籠・アーチの回廊）のインスタレーション

- ・里山の保全活動団体が切り出した竹材を用い、市民や学生、地域の寺子屋授業などで灯籠を作成。
- ・市内随一の緑の宝庫である生田緑地会場の始まりを告げる入口のシンボリックな竹アーチの仕上げとして、川崎ゆかりのデザイナー、学生などが装飾をデザインするなど、みんなで創る川崎のアートの魅力を全国に発信。
- ・装飾材は、日本民家園の一角にある伝統工芸館などで作成した藍染などを使用。



生田緑地におけるみどりとアート連携について（案）



●事業主体

・川崎市市制100周年記念事業・全国都市緑化かわさきフェア実行委員会

●事業スキームと想定事業費

（事業スキーム） 委託等

（事業費）

| | |
|--|--------|
| ①川崎ゆかりのデザイナー、学生等によるアート活動（美術作品の制作～展示まで） | 約180万円 |
| ※（デザイナー～2名＋学生30～40名程度）×秋・春の2期 | |
| ②絵画教室、多世代交流ワークショップなどの実施（3回）×2期 | 約180万円 |
| ③ウェルカムゲートのインスタレーション×2期 | 約100万円 |
| 小計 | 約460万円 |
| 消費税(10%) | 約40万円 |
| 合計 | 約500万円 |

※詳細調整の結果、変更となる場合があります。



● 背景

- ・全国都市緑化フェアは**都市緑化等を通じたみどり豊かな潤いのある都市づくり**を目的として、国が提唱し、昭和58年から全国各地で開催。
- ・第41回全国都市緑化かわさきフェアは首都圏で7年ぶりの開催であり、秋・春の開催スタイルは全国初。**川崎市市制100周年の象徴的事業**として、フェアをきっかけに人々が花やみどりを暮らしに取り入れるなど、**良好な都市環境の形成へつながる**ことが目的。
- ・メイン会場のひとつである**生田緑地会場**では、「**文化・歴史×みどり**」をテーマに豊かな自然を活かした演出や、**実行委員会参画団体や地元企業・団体等、より多くの主体と連携して取組を実施**。

